

ふるさとの歴史を巡る

地域の史跡などを巡り歴史を学ぶ庄内小学校の史跡学習会が5月22日、庄内地区で行われました。庄内地区まちづくり協議会が、子どもらに地域に伝わる歴史やふるさとの逸話などを伝え、その素晴らしさを再認識してもらおうと学習会に同行。同協議会会員らが、地域のお寺や神社にまつわる歴史などを説明しながら、町内を一緒に散策しました。長谷そらさん（5年）は「史跡を巡って、昔の人の生活風景やまちの歴史が分かった。学習会で聞いたことを、家族にも教えた」と、ふるさとの歴史に興味を抱いていました。



庄内小学校史跡学習会

みんなの笑顔誘う新商品

都城農業高校ライフデザイン科の生徒たちが企画・開発したぼんちプリンの販売開始式が5月22日、市内の菓子店「まーる茶房（志比田町）」で行われました。生徒らの農産物加工技術や経営的な視点を培う目的で、地元産のサツマイモを使った新しい加工品として考案した同商品。加工業者などに協力をもらいながら、試行錯誤を重ね完成しました。木下成美さん（3年）は「子どもからお年寄りまで食べやすいように、舌触りの滑らかさと食感にこだわりました。たくさんの方に食べてほしいです」と自慢の逸品の出来栄に満足していました。



ぼんちプリン商品販売開始

おなかも満ちたす地域交流

南九州大学の学生と地域住民との交流を深めるイベントが5月23日、同大学都城キャンパス周辺で行われました。地域応援団「かたらん花」の呼び掛けに約40人が参加。学生らは地域のひとと一緒に大学周辺のごみ拾いに汗を流した後、手づくりのがねやみそ汁などを食べながら親睦を深めていました。



ジバセンミニマルシェ

童心に帰って汗流す

ジバセンミニマルシェが5月24日、都城圏域地場産業振興センターで開催されました。パンや地域の食材を使ったおやつなどが販売され、多くの家族連れらが来場。また、パン食い競争やあめ食い競争など、昔懐かしい競技の運動会も開催され、参加者らは童心に帰って楽しんでいました。



おはよう目覚まし朝ごはん



身近な水環境に関する学習会

恵まれた水資源を実感

子どもたちにきれいな水を守る意識を持つてもらおうと5月14日、横市川で水環境学習会が行われました。明和小学校の6年生ら68人が参加。児童らは、水のおいしさや透明度を確認したり、川に入ってトビケラなどの水生生物の生息状況を観察したりして、水資源の大切さについて学びを深めていました。

家畜防疫の重要性を再確認

口蹄疫や鳥インフルエンザなどが発生した際の対応力の向上を図ろうと、作業に従事する職員を対象にした家畜防疫研修会が5月28日、中央公民館で開催されました。市職員など関係者ら250人が参加。参加者らは、防疫班や消毒ポイント班などの業務ごとに作業手順を確認しました。そのほか、作業前に行う健康診断や、防護服の着脱方法などが実演され、汚染部分に触れないなどの注意点が説明されました。また、都城家畜保健衛生所の担当者が、近隣諸国における家畜伝染病の現状を説明し、警戒を呼び掛けました。



家畜防疫研修会

おいしいお米ができますように

五穀豊穡を願うお田植え祭りが6月6日、東霧島神社で行われました。江戸中期ごろに始まり、戦争で中断したもの、平成元年に地元有志らが復活させた祭りに、高崎小学校の児童ら約20人が参加。大牟田保育園の園児らによる神楽が披露され、鎌を持った2人の男の子が田おこしと代かきを奉納。その後、かすりの着物に赤いたすき姿の早乙女らが、赤米の苗を一つずつ丁寧に植えていきました。宮良苑花さん（4年）は「泥が冷たくて気持ち良かった。一つずつ植えるのが難しかったです」と汗を拭っていました。



東霧島神社お田植え祭り

きれいな歯をいつまでも大切に

歯と口の健康を考えるイベント「お口の健康フェスティバル」が6月6日と7日、ウエルネス交流プラザで開催されました。多くの家族連れらが来場し、歯や口の健康に関する無料相談や、歯科医師の仕事などを体験。親子で楽しみながら、歯と口の健康の大切さを学んでいました。



松之元自治公民館認知症徘徊保護訓練

安心して暮らせるまちづくり

認知症徘徊者を保護する訓練が5月31日、松之元自治公民館（都北町）で行われました。同公民館に加入する約300人が参加。徘徊者の特徴が連絡網で伝えられ、班ごとに指定された箇所を搜索する訓練を実施。搜索手順の確認と併せて、暗がりや空き家、水路など危険箇所の点検も行われました。



お口の健康フェスティバル

きれいな大淀川を取り戻そう

NPO法人大淀川サミット主催の大淀川上流域クリーン作戦が6月6日、沖水川河川敷で開催されました。親子連れなど約100人が参加。参加者らは、空き缶やたばこの吸い殻などを拾い、河川敷を清掃しました。森下信芳会長は「川を愛する気持ちを持ってきれいにしてほしい」と話していました。



大淀川クリーン作戦

感動の音色を奏でる
若きサクソホン奏者



都城西高等学校 1年 中村 めいさん

クラシックやジャズ、ロックなどさまざまな音楽で用いられる木管楽器の一つ「サクソホン」。3月に東京都で開催された「第17回日本ジュニア管打楽器コンクール」ソロ部門中学生サクソホンの選考会で最高賞の金賞を受賞したのが、中村めいさん（南横市町）です。

サクソホンを演奏する姉に憧れて小学校3年生のときに習い始めた中村さんは、4年生で西小学校吹奏楽部に入部。同部顧問との出会いで、演奏する楽しさや喜び、難しさを知りました。

中学校に進学後も、吹奏楽部に入部し練習に励みながら、月に3回の個人レッスンを受け技術を磨いた中村さん。3年生のときは学業と両立しながら部長も務めました。高校に進学した現在、吹奏楽部には所属していませんが、毎日の練習を欠かしません。

コンクール本選は「ワルツ形式によるカプリス」という自由曲で挑戦。「難しい曲でしたが挑戦しました。高校受験の時期と重なり、思うような練習はできませんでした。が、大好きな曲だったので、練習は苦にはなりませんでした」とコンクールを振り返る中村さん。事前審査で勝ち残った7人による本選で見事、金賞の栄誉を手に入れました。

「とても緊張しましたが、聴いてくれる人や自分自身が楽しめるよう、精一杯演奏しました。受賞は、今まで支えてくれた周りの人たちのおかげです」と喜びを話します。

出場したコンクールで知り合った全国の友人やこれまで教わった指導者、そして両親への感謝の気持ちを大切に練習を続ける中村さん。「将来は楽団に入って、サクソホンの魅力を伝えられるプロの演奏家になり、たくさんの人たちに感動の音色を届けたい」と夢を膨らましていました。



霧島神宮近くにある霧島神水峡は、霧島山を源流に持つ霧島川の清流が造り出した渓谷で、昔から地域の人々に親しまれてきました。霧島神水峡では、昨年からの遊歩道や案内板が整備され、本年3月に新たな観光名所としてオープンしました。全長1.8キロメートルの遊歩道は、ゆつくり歩いて1時間ほど。広々とした展望台を



大自然に囲まれた渓谷で過ごす
悠久のとき

環霧島探訪では、霧島山を取り巻く宮崎、鹿児島両県の5市2町の情報を紹介しています。今回は、霧島市にある霧島神水峡を紹介します。

環霧島探訪



霧島神水峡は、霧島ジオパークならではの見どころもあります。展望台から望むダイナミックな岩盤は、御鉢の噴火による溶岩流が柱状に冷え固まったものです。コース上には、ルート案内の他、火砕流でできた渓谷や、霧島神水峡の特徴的な地形などについて学べる案内板もあり、霧島ジオパークへの関心を深めることができます。緑深まるこれからの季節。深い渓谷を流れる清らかな水と、自然が造り出した造形美に癒やされてみませんか。

ジオパークならではの見どころ

はじめ、白いカーテンとなって流れ落ちる人工滝や渓谷に架かる橋からの眺めなど、自然を楽しみながら渓谷沿いをゆつくりと散策できます。また、多くの生物や自然の植生を楽しめる霧島神水峡は、季節ごとにその姿を変えます。夏には、切り立った渓谷を流れる清流が見る人に癒やしを与え、秋が深まると周辺の落葉樹が赤や黄色に色付きます。



◎問い合わせ 霧島市観光課 ☎0995-64-0895



ピーマンには、カロテンやビタミンCが豊富に含まれています。その中でも赤や黄色のピーマンは、苦みがないので食べやすく、また、料理の彩りが良くなることから食欲をそそります。

材料 (4人分)

ピーマン (赤・黄) … 60g	A [薄口しょうゆ ……小2]
乾燥ひじき …… 10g	A [酢 ……大1]
キュウリ …… 40g	レタス ……適宜
水煮大豆 …… 40g	
シーチキン (小) …… 1缶	

●下準備

ピーマン……太めの千切りにする
乾燥ひじき……水で戻す
キュウリ……千切りにする

●作り方

①ピーマンとひじきはさつとゆで、水気を切って冷ます
②ピーマンとひじき、キュウリ、大豆、シーチキンをAで和えて器に盛る
※好みでレタスなどを敷く

ちょっと
工夫

少し味を濃くして、スパゲティやそうめんなど麺類に混ぜたり、青シソやラッキョウのみじん切り、カレー粉を加えたりしても違った味わいが楽しめます。また、水煮タイプのシーチキンを使うと、カロリーを抑えることができます。

◎問い合わせ 健康課 ☎23-2765